

上野中だより

上野村立上野中学校 学校通信
第18号(文責:校長 五十嵐貴子)
令和6年1月9日発行



くりたいと思います。3学期も、頑張る上中を、



3学期 始業式

令和6年、辰年。「辰」の文字の由来はくしくも「震」なのだそうです。

元旦に発生した能登半島地震。幸せなお正月の団らんは一瞬にして大惨事となりました。東日本大震災の教訓は生かされ、津波での犠牲は出ませんでした。倒壊した家屋、大火災、土砂崩れ、何度も襲う余震…、人の力及ばず、心が痛みました。

2日には、羽田空港で、飛行機が衝突、炎上という、痛ましい惨事が起こりました。亡くなった方が乗っていたのは被災地へ支援物資を運ぶ機でした。一方、日航機に乗っていた379名全員が無事だったのは、CAの方の的確な判断のおかげでした。緊急事態に備えて厳しい避難訓練を徹底していたそうです。御巣鷹の事故の教訓が生きたといえるかもしれません。燃える飛行機が悲しかった。

「辰」は、生き物がダイナミックに成長して変貌を遂げる様子を、天を駆け回る辰(龍)になぞらえたと言われ、物事が目に見えて大きく動き、変わっていく年とされます。今までの流れに囚われない、良くも悪くも予想外の変化が起こる一年になるようです。心がけたいのは、「過去を振り返らない」こと。新しい始まりは、新しい種まきをするのに最適な時。過ぎたことより未来に目を向け、目標を立てて、その実現のために何かを始める。それがラッキー



新年 おめでとうございます

令和6年のお正月を迎えました。1月は「今を大切に」、2月は「にこやかに笑顔で」、3月は「最高の時間を過ごす」。3学期はあっという間のイメージですが、令和6年度に向かって準備をする大事な足固めの0学期です。今を大切にして、笑顔を積み重ねてきました。3学期は最高の笑顔になれるように、最高の時間を過ごしたいと思います。

3年生の入試が始まり、襷は新しい学年につながれようとしています。上中ライフの今年度最後のページをみんなでしっかり締めくくってほしいと思います。



アクションです。何かを始めるのに、いつから、なんて考える必要はありません。思った時から始まり。私たちには、今、始める力がある。植物が大地から芽を出すように、新しい芽をしっかりと広げましょう。自分に力をつけて、過去から学び、新しい時代を切り拓く。今を生きる私たちの使命です。

避難しながらも助け合った人たち。一人でも多く救おうとするレスキュー隊。電気や水道の復旧のため県外から現地に応援に入った人々。現状を伝えた報道の人たち。支援物資の供給。応援メッセージ。「命を守る」という思いは、強くて優しく、熱くて確かで、きっと奇跡も起こすでしょう。

全日本高校サッカー選手権、石川の星陵高校応援団は被災して誰も来られなくなりました。すると、他のチームの選手や保護者が「がんばれ！日本の絆、今こそ強く」と大応援団を結成して、選手にエールを送り励ましました。私たちも、一日も早い生活の復興と心の傷が癒えることを祈りましょう。

いつもより暖かく穏やかなお正月、ではありましたが、心痛む始まりとなりました。それでも、みんなが力を合わせて前に進もうとしているパワーを感じます。今、自分にできることを頑張ろう。自分の元気を誰かに届けよう。見えないけれど、感じる絆を大切にしよう。真冬の寒さを乗り越えて春へ。みんなで笑進していきましょう。

